

会 議 録

会 議 の 名 称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会	
開 催 日 時	令和7年6月12日(木) 開会：19時00分 閉会19時45分	
開 催 場 所	産業文化会館 2A会議室	
出席者(委員) 氏 名	平野輝利人、溝上俊亮、今井和則、前田千穂、加藤里美、浅見純一、川島治	
欠席者(委員) 氏 名	堀内規、小林永治、江黒徹、河野真也、出雲秀章、島田由紀子	
事 務 局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会 議 内 容	1.8月9日(土)の研修内容について 2.研修会開催について 3.次回の会議開催について(8、9月ごろ)	
会 議 資 料	(資料名・概要等) 次第 一包化やボックス収納の活用について 「高齢者の服薬管理」アンケート結果	
そ の 他 必 要 事 項		
会議録の確定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名
	令和7年 6月 23日	平野 輝利人
		溝上 俊亮

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
各委員	<p>[開会] 19 : 00</p> <p>1. 8月9日（土）開催予定の研修内容について</p> <p>研修のテーマは「高齢者の服薬管理について～安心して服薬ができるために多職種ができること～（仮）」。講義は①川島会長 10分、②アポック今井さん 10分、③ふぁみいゆ前田さん 5分・包括職員 5分の計 30分の予定。施設から市への報告書で多い内容は誤薬に関するもの。今回の研修の講義部分で誤薬について触れることで、後半のグループワークの中で課題として意見が挙がり、誤薬を防ぐ仕組みづくりの意識へとつながると良い。誤薬以外に内服忘れ、貼付薬忘れなどもある。</p> <p>（薬剤師より別紙資料「一包化やボックス収納の活用について」説明） 降圧薬を飲まなくても問題なく過ごしている人もいるため、調整したら処方量を減らせるのではないかと。高齢者の服薬管理のアンケートからは、「残薬が多い」「飲みこめていない」などの意見が多かった。粉砕すべきでない錠剤もあるため、自己判断で薬の形態を変えるのは避けてほしい。飲みこめない時の対応を薬剤師に相談できることを知ってほしい。薬剤師や、処方する医師に相談する手段や方法があれば連携が取りやすい。</p> <p>グループワークのファシリテーターは各班に置きたい。ファシリテーターは医介連携支援センターを通して薬剤師会会長に依頼する。テーマは「薬の飲みこみ」「残薬」「医師との連携方法」はどうか。6人×6班で 36人程度の予定。施設、在宅など所属に応じてグループ分けをするとそれぞれ課題を見つけやすい。課題に対してどう解決するか、結論が出るように話をまとめていけたら良い。</p> <p>2. 研修会開催について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 開催日時 8月9日（土）13 : 30～15 : 00 2) 対象者 行田市内外の医療・介護・福祉・行政従事者 3) 場所 商工センター403 研修室 <p>3. 次回の会議開催について</p> <p>1 回目の研修実施後に開催予定。</p> <p>【閉会】 19 : 45</p>